



東陽中だより

○発行責任者 宮崎 浩司
○文 責 河村 知泰
○発行日 令和7年7月23日
No. 4【7月号】

◎教育目標 ～ 明日を拓く ～ ★豊かな心 ★活きた知性 ★たくましい体

「1学期を終えて」

校長 宮崎 浩司

例年に増して暑い日が続いております。保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、「互いに認め、高め合い、主体的に行動する生徒の育成」を重点目標として取り組んできた今年度も1学期が無事に終わりを迎えようとしています。この4か月、生徒たちは日々の学校生活や学習活動にまじめな態度で取り組むとともに、様々な行事や部活動にも全力で挑み、大きく成長する姿を見せてくれました。

5月の体育祭では、クラスや学年の枠を超えた応援・協力のもと、躍動する生徒の姿を目にすることができました。また、部活動においても各競技の大会や発表会をはじめ、先月の中連大会や今月の上川代表決定戦での懸命な頑張りが光っていました。仲間と支え合い、努力を重ねるその姿勢は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

また、1学期を通して自らの学びに向き合い、基礎・基本の定着に力を入れてきた生徒も少なくありません。特に今年度は、毎日の家庭学習に取り組むことに加え、各教科の学習で自分らしい学び方を見つけることなど、学びに積極的に取り組むよう話をしてきました。その意識をもち続け、今後も更なる向上が見られることを期待しています。

一方で、生徒の成長には、学校での学びや経験だけでなく、家庭の関わりや声掛けも大きな力となります。学校では、日々の授業や行事、生活指導を通じた成長への支援を行っていますが、その効果をより高め、生徒を健やかに成長させていくためには、学校と家庭が共通の視点や姿勢をもって接していくことが非常に重要です。例えば、「時間を守る」「挨拶をする」「他者を思いやる」「ルールやマナー、モラルを守る」といった基本的な生活習慣や人との関わり方は、日々の暮らしの中で育まれるものです。学校での指導と足並みの揃った見守りや励ましがあることで、生徒たちは自信をもってさらに成長していくことができます。

これから迎える夏休みは、熱気にあふれた校舎での学校生活から離れ、1学期を振り返るとともに、心と体をリフレッシュさせる期間です。まだまだ暑い日が続きますが、生活のリズムを崩さず、有意義な時間を過ごしてほしいと願っています。

加えて、夏休みは2学期に向けた新たな目標を立て、次への一步を踏み出す準備期間でもあります。特に3年生は進路選択の時期となります。将来について考える時間も大切にしてください。

最後になりますが、明日からの期間が事故やトラブルのない充実した夏となるよう、保護者の皆様には、引き続き生徒たちを温かく見守り、支えていただくとともに、今後とも、本校の教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「じろうけい 宿泊研修 全マシ」(2年生宿泊研修スローガン)

<意味>

- じ じかん(時間)を守る!
- ロ ロケット作りを頑張る!
- ウ ウォークラリーで一致団結!
- け けんかをしない!
- い いつも仲良く!

7月18日(金)、19日(土)に、2年生の宿泊研修が行われました。
 1日目は、赤平市にある植松電機にてモデルロケット制作、打ち上げからスタート。その後、宿舎であるネイパル深川に移動し、創作体験「my 箸づくり」、体育館での学級対抗の学年レクを実施しました。
 2日目は、ウォークラリーを行いました。

どの活動も一生懸命取り組む2年生のよさが発揮されたものとなりました。



【植松電機 ロケット制作】



【my 箸づくり】



【学年レク】



【ウォークラリー】

上川代表決定戦

~次のステージは全道大会~

7月4日(金)、5日(土)に上川代表決定戦が開催されました。

本校からは、女子卓球部(団体)、男子バドミントン部(個人)、女子柔道(個人)が出場しました。

・女子卓球部(団体)

予選リーグ 1勝 2敗 惜敗

・男子バドミントン部(個人) 1回戦敗退

・女子柔道(個人) 第3位

悔しさはあるかもしれませんが、最高のパフォーマンスを発揮した結果です。胸を張って今後に向かってもらいたいところです。

全道大会については、本校からは、クラブチームとして出場した陸上競技女子(2名)が進出します。

日々の成果を発揮し、ベストを尽くしてくれることを期待しています。

児童生徒性暴力等の事件について

先月、道外の教師が児童生徒等を盗撮し、逮捕される事案が報道されました。決してあってはならないこの件を受けて、本校では全職員を対象とした臨時の研修と校内点検を行っております。また、別紙にて北海道教育委員会から出された相談窓口を掲載しておりますのでご確認ください。なお、この件に関する本校の相談窓口は、校長、教頭といたします。

8月、9月行事予定

8月

11日(月) 山の日

12日(火) 学校閉庁日(～15日)

25日(月) 3年前期期末テスト(～26日)

26日(火) 2学期始業式

28日(木) 1、2年前期期末テスト(～29日)

9月

1日(月) 教育実習開始

10日(水) 3年学力テスト(総合A)

12日(金) 学校祭

15日(月) 敬老の日

19日(金) 生徒会役員選挙

23日(火) 秋分の日

26日(金) 認証式、英語検定②、教育実習終了

学校閉庁日についてのお知らせ

今年度は8月12日～15日が学校閉庁日となっています。この期間は学校に教職員が不在となります。事故等による緊急連絡先は「旭川市教育委員会 学校教育部 教職員課 25-9116」にご連絡願います。

主な相談窓口（北海道）① 中学生・中学部生・高校生・高等部生用（令和7年4月）

名称	所管等	電話番号	受付	概要
子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 (0120-0-78310) sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がない、ヤングケアラーに関することなど、様々な悩みを相談できます。
ほっかいどうこどもライン 相談	北海道教育委員会		令和7年5月19日～ 令和8年3月23日 の月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 5/1～5/12毎日17:00～22:00 8/6～9/17毎日17:00～22:00 1/7～1/30毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	189 (いちはやく)	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 (厚生労働省)		平日9:00～17:00	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
こどもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドライン	認定NPO法人 チャイルドライン ほっかいどう	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

主な相談窓口（北海道）② 中学生・中学部生・高校生・高等部生用

名称	所管等	電話番号	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話相談	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00	様々な悩みを相談できます。
北海道こころの健康SNS 相談窓口	北海道保健福祉部		平日、土曜日、祝日 18:00～22:00 日曜日 18:00～翌朝6:00	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター 北海道 (SACRACH さくらこ)	北海道、札幌市	050-3786-0799 または #8891 sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp	平日10:00～20:00 (土日祝祭日、12/29 ～1/3除く)	子どもや大人が性暴力の被害について相談できます。
北海道ヤングケアラー相談 サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086 (電話) hokkaido.young.carer2022@gmail.com 080-9612-1247 (SMS専用) facebook.com/hokkaido.young.support (Facebook) @youngcarer2022 (X 旧:Twitter)	ヤングケアラーに関する相談ができます。 開設時間 平日 8:45～17:30	ヤングケアラーに関する相談ができます。